



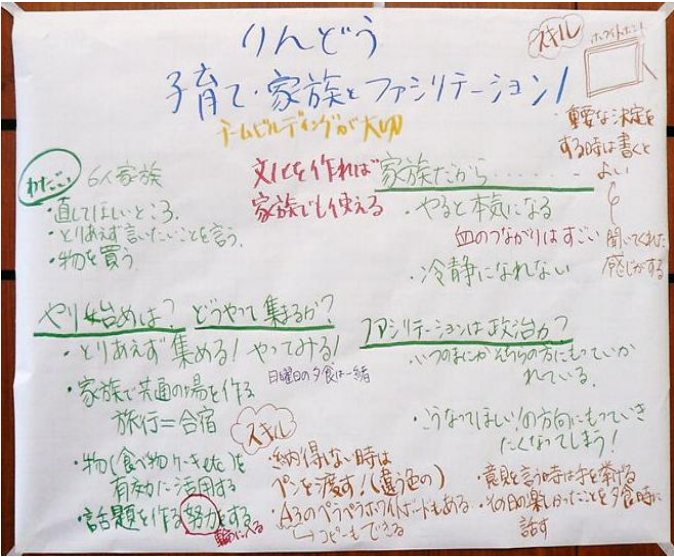


No.	開始・部 屋	トピック・提案者	話し合った結果(作成物)	提案者コメント
1	12:00 光の駅	<p>FAJ各支部で どんなワークショップ (定例会)を やっているのか？</p> <p>だんの</p>	 <p>(作成物ありません)</p>	 <p>(コメントありません)</p>
2	12:00 光の駅	<p>「ファシリテーション」 との出会い とその魅力を 話しましょう！！</p> <p>ちびまり</p>	 <p>(作成物ありません)</p>	 <p>(コメントありません)</p>

No.	開始・部屋	トピック・提案者	話し合った結果(作成物)	提案者コメント
3	12:00 光の駅	<p>参加強制のない話し合いで (地域) 発言の無い(少ない) 人の満足度を上げるには たしかめるには?</p> <p>菊池</p>		 <p>(コメントありません)</p>
4	1:00 風の庭 うさぎぎく	<p>ファシグラスキル交換</p> <p>まさし</p>		<p>ファシグラ(ファシリテーション・グラフィックス)で、みなさん、いろいろ試行錯誤という工夫をされていることが、改めて判りました。これを、今回、みなさんと、こんな風にやってるよ、とノウハウ交換をしましたが、ボク自身もいただいたものがありますし、参加された方も、なんかのお持ち帰りができたと推察しています。 来年もやりましょう。そして、さらに、こんな工夫をしたよ、というのを、また交換しましょう。(^^)/</p>

No.	開始・部屋	トピック・提案者	話し合った結果(作成物)	提案者コメント
5	1:00 空と赤の庭 くるまそう	仲間や部下の 当事者意識が 上がるには？ うわい		<p>職場での上司・部下、同僚との関係で悩みをもっている方が集まりました。上司が悪い。部下が悪い。自分は良くて周りが悪い。では、ことは進まないことに改めて気づきました。せっかくFAJで学んでいるので、「組織内変革ファシリテーターとして、一步を踏み出すためには？」ということでも対話をすすめていきました。目的・目標を共有する場、仲間を巻き込む場などを仕掛けていくことが大切だと再確認できました。ここに集まった方からは、「思い切って、上司にきちんと自分の考えを話してみる」「セクション間の壁を低くするためにも、セクション同士の重なる部分を共に取り組んでいきたい」という言葉をいただきました。改めて、仲間や上司・部下の当事者意識が上がるためにも、組織内変革のファシリテーションの可能性を信じて実行していきたいと思いました。</p>
6	1:00 叡智の庭 とりかぶと	ファシリテーションで 会社(職場)を 変えられるか？ 小椋		<p>「ファシリテーションで会社(職場)を変えられるか?」「もちろん、変えられる!」と意気込んで、「実践の中部」らしいテーマを上げ、「とりかぶとの庭」を選らんで、毒にも薬にもなる熱い議論をするつもりでしたが、実際には、反省点が多く残りました。大きくは、一時間では語りつくせないテーマだった、ということと、中途半端に収束を急いでしまった、の2点です。</p> <p>しかしながら、「オーナー経営者が改革反対、という苦勞がわかるか?」「みんな、変えたいのは一緒」「改革の数少ない活路が、ファシリテーションである」「職場で誇りを持った人たちが集まれば、きっと光が見えるはず」といった、貴重な共有も生まれました。</p> <p>また一方、OST運営の気づきとして、テーマとして一番向いているのは、「悩み事の相談」ではないか?、ということです。テーマ提示者による「自説の主張」という形ですとどうしても、参加者に反論を求め(例え本音は賛成でも)、白黒付けるディスカッションスタイルとなってしまいます。たった一時間ですので、準備不足で情報不足かつお互いの理解不足のため、すっきりと結論は至りません。一方、テーマ提示者による「悩み事の相談」ですと、自然と参加者から親切な助言が集まるため、提示者は感動し、ダイアログとしても良い雰囲気の中、深まります。もちろん1時間で答えとまではいかないものの、終了時に提示者がとても満足している、という印象があります。</p>

No.	開始・部屋	トピック・提案者	話し合った結果(作成物)	提案者コメント
7	1:00 空と赤の庭 つつじ	ファシリテーションの最中に 場を乱す困ったちゃん 体験談を話し合い (どう対処したのか? etc.) みきⅡ		 <p>(コメントありません)</p>
8	1:00 空と赤の庭 りんどう	子育てや家族で ファシリテーションを 使えないか、 やってみませんか? 柴ちゃん		<p>『ファシリテーションは、文化を作れば、子育てや家族でも十分に使えます!!』いくつかの家族のファシリテーション導入例や、家族間の赤裸々な裏話を皆で共有しました。家族だからこそ導入が難しいこと、家族だからこそうまくいくと絆が深まるなど様々な意見が出てきました。ファシリテーションは、やった人でないとなかなかその価値がわかりません。子育てや家族でやってみるのは、勇気がいるかもしれませんが、まずはちょっとした小物を用意してやってみるのが大切かもしれません。A3のぺらぺらのホワイトボードを用意したり、食べ物を用意したりして今日の楽しかったことを話すことなどから始めてはどうでしょう。そんなところから始めれば、なんとなく聞いてくれた感触が生まれたり話題が増えてきたりするのではないのでしょうか。子育てや家族で使えたらと思っている人は結構多いのではないのでしょうか。今まで、家族で使うことが出来なかった人、使っている家族のお話などを聞くと、少しやってみようかなという気になるかもしれません。そういう意味でも、今後がとても楽しみなワークになったのではないかと思います。</p>